

学校だより



ひがし

令和4年5月2日発行
第2号
伊豆市立修善寺東小学校
TEL0558-72-0420

- ◆学校教育目標「よく学ぶ たくましく心やさしい 東っ子」
- ◆重点目標「自分の考えをもち、表現しよう」「人を大切にしよう」「目標に向かって、挑戦しよう」

当たり前の感謝

伊豆市立修善寺東小学校校長 堀江 健司

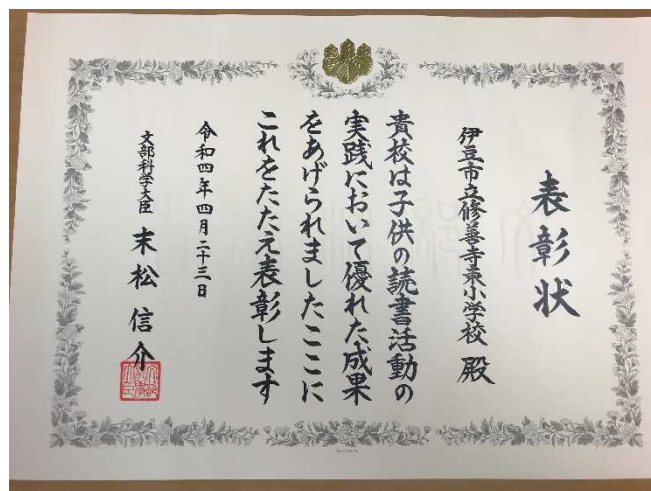
4月8日にスタートして3週間ほどたちました。子供たちは、新しい学年になったという新鮮な感覚を持ち続け、意欲的に学習に取り組んでいます。4月22日には、「1年生を迎える会」が行われました。コロナ感染対策をとりながらの実施でしたが、直接全校が集まって1年生を迎えることができました。もらったメダルに書かれたたくさんのメッセージを読む1年生の姿には、所属感が増している喜びが表れていました。

一昨年を思い出すと、このころはコロナで休校中でした。4月になれば新しい学年がスタートするという「当たり前」が、当たり前ではないことを実感しました。学校がある、授業がある、友達と会う、行事がある…、様々な当たり前が、なくなっはじめてその存在に気づき、当たり前に感謝できる、そんな機会だったのかと、今振りかえって強く感じるどころです。

あるテレビ番組の内容です。中東の内戦が続く国(ウクライナではない)の若者を追ったドキュメンタリーでした。内戦で家を焼かれ、家族で難民となって逃げ延びていくのですが、スマホを持ち、その様子を配信することで、収入を得ています。目的地はヨーロッパです。パスポートはないので、幾多の国境を突破していきます。時には、銃撃されたり、捕まって戻されたりすることもありました。そんな彼らへのインタビューで、「ヨーロッパに着いたら何をしたいか」という質問がありました。ゲームやSNSを存分にやりたいという回答を予想したのですが、彼らが真っ先に言ったのは「学校に行きたい」「勉強したい」というものでした。別のテレビ番組では、中南米のジャングルに住む2人の姉妹の話が放映されていました。学校までの道のりは大変厳しく、危険な猛獣や毒を持つ生物がいっぱいいました。途中から船で川を進むのですが、今にも沈みそうな船を少女2人で懸命に水をかき出し、こいでいました。2時間以上かけてようやくついた頃には、2人は疲れ切っていました。「なぜ、そこまでして学校に通うのか」という質問に、「学校が好き」「勉強が楽しい」と2人そろって答えました。

学ぶこと、それを行う学校は、国や人種を問わず、人類普遍の原理なのかもしれません。学校があるという当たり前で感謝しながら、子供たちが「学びたい」といえる学校を創っていきたいと思います。

4月23日の「子供読書の日」に、「子供の読書活動優秀実践校」として、「文部科学大臣表彰」を受けました。これは、長年にわたり、子供たちが読書に親しみ、定着していることの成果です。多くの関係者と共にいただいた賞です。



主な行事予定

5月

- 2日(月) 心電図検査 1・4年
- 3日(火) <憲法記念日>
- 4日(水) <みどりの日>
- 5日(木) <こどもの日>

- 9日(月) 生活はなまるカード~22日まで
スクールソーシャルワーカー・
スクールカウンセラー来校日
- 10日(火) 朝会 代表委員会
蛍ゲストティーチャー授業 2年
校外学習 3年(城山)
- 11日(水) 会議日課
- 12日(木) PTA 運営委員会
- 13日(金) フッ素洗口 縦割り遊び
- 15日(日) PTA 資源回収
- 16日(月) 自然体験教室説明会 4・5年
- 18日(水) 会議日課
- 19日(木) 交通安全教室 NMD
スクールソーシャルワーカー来校日
- 20日(金) フッ素洗口
聴力検査 1・2・3・5年
色覚検査(希望)4年
コミュニティスクール推進委員会
- 22日(日) PTA 資源回収予備日
- 23日(月) 新体力テスト週間
耳鼻科検診 1・3・5年
- 24日(火) 尿検査 2次
- 25日(水) 特別日課 3時間 11:30 下校
- 27日(金) フッ素洗口
- 30日(月) リレー会練習 学びタイム
スクールカウンセラー来校日



令和4年度スタート

<始業式>



4月8日(金)、始業式が行われました。

担任発表、教科書授与等があり、子供たちの緊張しながらも真剣な表情が印象的でした。



午後からの入学式で13名の1年生が加わり、全校82名でのスタートとなりました。

<入学式>



<1年生を迎える会>



4月22日(金) 1年生を迎える会が行われました。

6年生がエスコートして入場、自己紹介をしました。

2~6年生とじゃんけんをしながら交流し、プレゼントをもらって、嬉しそうでした。



